

地域情報

天草支部における紙ポットを利用したいちご育苗期の高温対策の取組み ～現地検討会の開催～

(一社)熊本県野菜振興協会 天草支部

天草地域では、レタスやミニトマト、いちご等の品目を中心に、多くの野菜が生産されています。いちごについては、近年の育苗期の高温により花芽分化が遅延しており、定植時期の遅れによる年内収量の減少が問題となっています。

このような現状の中、比較的労力・コストがかからず、取り組みやすい高温対策技術を模索するべく、令和7年度から紙ポットを利用した高温対策展示ほを設置し、花芽分化の遅延抑制効果を検討しています。

展示ほの実施状況および生育等の確認を行うため、育苗期の8月と本ほ定植後の11月の2回にわたり、管内のいちご生産者、JA指導員、市担当職員を参集し、現地検討会を開催しました。現地検討会では、紙ポットを使用した場合と通常の黒ポットを使用した場合の生育がほとんど同等となっていることを確認し、紙ポットを使用した際の作業性について参加者同士で意見交換が活発に行われるなど、参加者の展示ほに対する興味・関心の強さが感じられました。

今後も引き続き、いちごの高温対策技術について検討を重ね、年内収量の安定確保へとつなげられるよう、関係機関で連携して取組みを進めていきます。



紙ポットを利用したいちご苗の様子



現地検討会（11月）の様子